

# 棚田に吹く風

2019  
冬  
Winter  
季刊

## 2 特集

エコプロ2018

棚田里山 酒めぐりレポート

## 5 フォトエッセイ

棚田との語らい

## 6 棚田・里山からのたより

瀬戸内国際芸術祭を契機に蘇った風光明媚な棚田  
香川県土庄町豊島唐櫃の棚田

## 8 ヨネちゃんのニッポン全国

棚田オーナー制度紹介

備前温泉案内所

## 9 棚田博覧は今日も行く

鈴鹿山系野登山麓にある棚田  
三重県伊賀市坂本

## 12 会員のひろば

## 14 かつどうノート

スタッフのつ・ぶ・や・き

## 15 Project Report





# 酒 棚田里山 めぐり

呑んで応援  
わが原風景

今回で二度目となる、棚田地域のお米や農作物で作られたお酒が飲み比べでできる夢のイベント。ラインアップされたのは、日本酒、どぶろく、焼酎、リキュールなど、11の棚田地域の14銘柄。棚田の原風景を守りたいという共通の想いのもと、それぞれの地域のストーリーをもって生まれた、新しい地酒たちです。



山口県長門市「東後畑の棚田」  
純米大吟醸 **むかつく**  
(向 津具)

徳島県上勝町  
上勝の棚田米と湧き水と  
負けん気でこっしやえた  
**米焼酎**  
**純米吟醸原酒**

徳島県上勝町  
上勝の棚田米と湧き水と  
負けん気でこっしやえた

どぶろく **御祓泉** (辛口)  
どぶろく **御祓花** (甘口)

愛媛県内子町「泉谷の棚田」  
じゃばらリキュール  
**ステラミラ**

長崎県波佐見町「鬼木棚田」  
純米酒 山田錦 **六十餘州**



試飲は1杯百円。全種類にチャレンジする人も。一部は販売され、初日に売り切れたものもあった





- |   |   |   |   |   |  |   |
|---|---|---|---|---|--|---|
| <br><b>い</b> | <br><b>ろ</b> | <br><b>は</b> | <br><b>に</b> | <br><b>ほ</b> | <br><b>へ</b> | <br><b>と</b> |
| 山形県大蔵村「四ヶ村の棚田」<br>棚田米本醸造原酒<br><b>深雪</b>   | 千葉県鴨川市<br>純米吟醸<br><b>大山千枚田</b>  | 静岡県松崎町「石部の棚田」<br>黒米焼酎<br><b>百笑一喜</b>  | 長野県小谷村<br>純米吟醸<br><b>小谷錦</b>  | 石川県輪島市「白米の千枚田」<br>純米酒<br><b>千枚田</b>   | 岡山県美作市「上山の千枚田」<br>純米酒<br><b>崑(き)</b>   | 広島県安芸太田町<br>かぼちゃ焼酎<br><b>井仁棚田</b>   |

フランスやドイツでは、ワインやジュースを「飲んで応援」することで伝統的な景観が守られているそうです。日本でも、お酒にこだわる人たちが、この原材料の産地に向け、棚田の現状を知り、その風景を思い浮かべてほしい。「のんべえ」が棚田酒を選んで飲むことで、農産品の価値を上げ、棚田を守っていくことに繋がっていきたい。そんな夢を描いています。

企画協力…むらまつ酒商類



二日目お昼の対談「酒屋、棚田と出会う」



# 棚田へおいでよ!

恒例の、環境展示イベント「エコプロ2018」が12月6日～8日の3日間にわたり東京ビッグサイトで開かれました。東北から九州までの12地域14団体が参加し、棚田の魅力をアピールしました。



## エコプロ2018

日本の棚田共同展示コーナー

2018年12月6日(木)～8日(土)

### 棚田グループ共同出展企画 参加団体



- ↓ 四ヶ村の棚田
- ↓ 佐渡棚田協議会
- ↓ 池谷・入山地区の棚田
- ↓ 石部棚田・久留文木棚田・平成棚田
- ↓ 小谷村の棚田
- ↓ 白米千枚田
- ↓ 小阪の棚田

- (山形県大蔵村)
- (新潟県佐渡市)
- (新潟県十日町市)
- (静岡県・松崎町)
- (長野県小谷村)
- (石川県輪島市)
- (和歌山県那智勝浦町)

- ↓ 温川の棚田
- ↓ 英田上山棚田団
- ↓ 泉谷地区棚田を守る会
- ↓ 東後畑の棚田
- ↓ 鬼木棚田協議会
- ↓ 全国棚田(千枚田)連絡協議会
- ↓ 棚田ネットワーク

- (和歌山県田辺市中辺路町)
- (岡山県美作市)
- (愛媛県内子町)
- (山口県長門市)
- (長崎県波佐見町)





浜野浦の棚田

## 棚田三昧

写真・文  
梅野 秀和

寒風吹き荒ぶ冬の棚田

佐賀県東松浦郡玄海町浜野浦の棚田

沈む夕日が田植えを終えたばかりの棚田と海に反射し、美しい光と影のコントラストが見られる棚田として全国の棚田愛好家が訪れる佐賀県東松浦郡玄海町浜野浦の棚田も、冬の時期は誰もいない。

以前から私は、棚田の風景を撮影している人は、水を張った田植えの時期や彼岸花が美しく畔を彩る時期ばかりではなく一年を通して、棚田に通って欲しいと思っている。九州の平野部は、私の幼い頃に比べると温暖化でなかなか雪が積もらなくなった。

珍しく今季最大の寒気を伴う雪雲で大雪になり、道路には雪が数十センチ積もった。期待が持てそうだとワクワクしながら出かけたが、着いてみると途中の雪景色とは変わって、ここは薄っすらとしか積もっていない。原因は大陸から吹く強い西風が雪を吹き飛ばしてしまったようで、ここまてとは思わなかった。気を取り直して撮影したが、玄界灘から吹き荒ぶ強い風には閉口した。

帰りは浜野浦からあまり離れていない肥前町の大浦の棚田に寄ったが風もなく、一面見事なまでの銀世界だった。



大浦棚田



梅野 秀和 うめの ひでかず

1947年6月佐賀県生まれ。九州各地の風景を中心に撮影。現在は古民家を背景に山里の暮らしを取材中。写真集として「九州花百景」「九州の一本桜」「だんだん田んぼの詩」などがある。2006年発行の写真集「棚田～たんぼの四季～」は第9回日本自費出版文化賞受賞。



棚田・里山  
からの  
たより



## 瀬戸内国際芸術祭を契機に蘇った 風光明媚な棚田

香川県土庄町豊島唐櫃の棚田  
てしまからと

### 棚田に魅了され 豊島に暮らす

私が豊島唐櫃の棚田へ初めて訪れたのは、2013年の夏でした。それまでも数段の棚田は見たことがありましたが、改めて棚田という地形を認識し、魅了されたことがきっかけで、2015年の春から豊島に暮らし始めました。現在まで3年半ほどの間、棚田保存会をはじめとする地域の方々と共に棚田の田畑の管理や田畑のイベント運営を仕事とさせていただいています。

唐櫃の棚田は、海に向かって開けており、棚田から海や船、島々が見え、逆に海の上の船からも棚田が見えるところが、風景としての唐櫃の棚田の魅力の一つではないかと思っています。

豊島という島の中にも各集落に棚田があり、おとなりの小豆島にも大きな棚田があり、日本全国、アジ

1: 田植え風景 / 2: 田植え時期の棚田 / 3: 国内外からの来訪者



アの国々に棚田がある中で、私はたまたま唐櫃の棚田の風景や人々の営みに惹かれて、棚田にまつわる文化の魅力を知っていききっかけを得ました。私自身が活動する場である唐櫃の棚田の魅力を掘って育てて発信していくことはもちろんですが、ほかの地域の棚田とも共通するような棚田にまつわる文化の魅力を学び続け、素晴らしと思うものを残していくことも、同様に面白く大切なことだと思い、日々棚田と向き合っています。

“棚田を荒廃させない”  
は私たちの願い

私は、2010年に棚田の再整備事業が行われた当時のこと、そして再整備以前の耕作することができなかった数十年間、さらに前のすべての田畑で耕作がされていた時代を知りません。しかし、一緒に棚田で仕事をする地域の方々と、当時の風景や人々のことを



お聞きするたびに、自分より先の世代の人々にも棚田を通して学ぶことのできる暮らし、文化を伝えていきたいと感じます。そのためいまは、大きなことはできませんが、地域の方々とともに再整備された一枚一枚の田畑を条件に合わせて田んぼ、野菜畑、果樹畑、花畑として活かして耕作し、定期的に小さなイベントを開いて田畑を活用しています。

イベントは、田んぼでは田植えと稲刈り、畑では季節ごとの野菜や果物の収穫体験を棚田保存会の方々とともに企画し、運営しています。今年の田植えと稲刈りには、それぞれ40名以上の方が周辺の県や首都圏からお越しくださいました。棚田の現場で働くメンバーは毎年少しずつ変わってはいませんが、立場や所属に関係なく、「もう二度と荒らさない」という思いが全員の共通認識として引き継がれているように思います。現在は耕作されていない田畑も年間を通して地域の方々が草刈りを行っており、棚田の段状の風景を維持することで、景観的な美しさが保たれ

ています。

棚田で働く地域の方々のおかげに、思いに触れるたびに、気持ちを引き締まることも棚田の仕事にかかわることに誇りを感じます。

### 豊島の見どころ

もし豊島へ訪れることがありましたら、まずは岡山県の宇野港から香川県の土庄港間の船の上から棚田を眺め、そして島に着いたら檀山の頂上に登って棚田を見下ろしてみるところをおすすめします。頂上から見下ろすと、棚田だけでなく、みかん畑、オリーブ畑、農地の合間にある集落、山、海の上の船、海越しの島々を見



休耕田利用のお花畑

### ■ 棚田へのアクセス

【公共交通】 小豆島豊島フェリー(株)・宇野港より土庄行きに乗船し唐櫃港で下船徒歩すぐ。宇野港より約30分。他に、便数は少ないが高松港ルートなどがある

【自動車】 島内めぐりはバス便、レンタサイクル有り

### ■ お問い合わせ

土庄町農林水産課 tel: 0879-62-7007



保存会の方々



ヨネちゃん



# ニッポン全国 棚田オーナー制度紹介

第十七回

第十七回は新潟県柏崎市にある岩之入(いわのいり)の棚田を紹介するわね!



岩之入棚田は、柏崎市中心部から東に13kmほど進んだ、内陸の山間地にあるわ。農地が未整備な上に、高齢化が進んでいて、このまま耕作を続けていくのは大変と思った数少ない40~50代の担い手が一念発起して、オーナー制度を始めたそうよ!



オーナー制度の会費は年間30,000円。田植え、稲刈り、収穫等、年間を通して田んぼでは作業があるけれど、基本的には自由参加よ! 遠方に住む人にとってはありがたいわね。



もちろん、収穫時には玄米60kgを頂くことができるわ。さらに、収穫祭では、はさ掛けもち米を10kg頂けるそうよ。嬉しいわね! 次のオーナー募集は来春よ! 柏崎市の産業振興部農政課 まで問い合わせみてね!

こちらチェックしてみてネ!  
棚田オーナー募集地域紹介サイト

棚田百貨堂 検索



## 棚田⇄温泉案内所

弘法の湯・月ヶ谷温泉と、かみかつ棚田未来づくり

全国のベスト・カップルが棚田と温泉をご紹介!

JR徳島駅から40キロ、ちょうど1時間の車旅で、葉っぱ産業いろどり・ゴミゼロ・棚田、上勝町へ。

勝浦川の川沿いの播原地区に、四国霊場をひらいた空海ゆかりの月ヶ谷温泉がある。源泉は温泉近くの「月ヶ谷」の岩場から湧き出る冷泉で、単純硫黄冷鉱泉。神経痛、筋肉痛、関節痛などの効能がある。温泉の熱源は、「温泉にはいつて森を守ろう」のキャッチフレーズのもと、木質バイオマス・ボイラーを使用している。

温泉周辺の徒歩圏内には、葉っぱビジネスの「いろどり山」「いろどり橋」、ダム湖沿いにヤマビコ体験ができるヤッホーポイント等が点在する。温泉から、田野々4キロ、檜原6キロ、市宇8キロ、八重地9キロの位置に、棚田サミット会場となった4つの棚田が点在する。

高齢化率が7割超8割に達するこれら棚田地域で、集落居住を目指す「かみかつ棚田未来づくり」が2017年より新たにスタートした。2018年には檜原の棚田で「かみかつLED棚田のあかり」や、若者連携を目指した「ボランティア活動手帳・上勝ぼらんくん」の発行などを展開している。

(有)環境とまちづくり 澤田俊明



# 棚田博士 は 今日も行く!

中島峰広の  
全国棚田行脚

## 鈴鹿山系野登山麓にある棚田

三重県亀山市坂本



なかしま みつひろ  
中島 峰広 (棚田博士)

早稲田大学名誉教授。学術博士。NPO  
法人棚田ネットワーク代表。全国棚田  
(千枚田)連絡協議会理事、棚田サミット  
開催地選定委員会委員長。1933年  
宮崎県生まれ。早稲田大学教育学部地  
理科卒。2004年まで早稲田大学教育  
学部教授。著書に『日本の棚田—保全へ  
の取組み』『百歳の棚田を歩く』『続・百  
歳の棚田を歩く』『棚田 その守り人』(以  
上、古今書院)。現在、百歳の棚田に  
ついての執筆準備のため全国行脚中。



亀山市は県中北部、シャープや古河電工などの大工場がある工業都市。坂本は亀山市の北端、標高851mの野登山頂付近にある野登寺への参詣道入口に位置している。日本の棚田百選が選定された直後の1999年9月に一度坂本を訪ねているが、30分程度の時間で集落より南の沖田の棚田を見たにすぎず、印象が薄いので再度訪ねることにした。

2018年5月中旬、名古屋から関西本線に乗り亀山に到着。駅前からは亀山市が経営する坂本までの1日2便か、麓の集落池山までの1日4便のコミュニティバスを利用できる。今回はバス停池山東で下車。坂本棚田の案内板に従い坂道を上り建設中の新名神高速道をくぐると棚田が見えてくる。

### 急速に増える休耕田

集落は、50mほどの段差を持つて階段状に形成されており、それを取り囲むように東西南北の標高180〜220mの傾斜7分の1の斜面に棚田が分布している。東西南北はそれぞれが田代、谷、沖田、上屋敷と呼ばれ、集落の前面に当たる南の沖田が最も広い面積を占める。沖田は、上・中・下段の3段に大別され、集落から遠い下段には2列になりおよそ15段30枚ほど、1枚が2〜5mの広さ、0.5〜1.0mの高さの石積みの棚田だ。そのうち田植えを待つ水の張つてある田圃が2枚、畑として利用されているのが3枚で、集落から遠いためか、休耕田(管理調整田)が目立つ。

中段は4列、10段ほど、1枚が1

〜10m、高さ1.5〜2.0mの石積み、およそ40枚のうち水が張つてあるのは11枚。上段は6列、10段、1枚が10〜20mと大きく、石積みの高さは中段とかわりないが、水が張られた田は37枚、半分以上が耕作されているのは集落に近いためと考えられる。

集落西の谷は、2列22段、1枚が10mを超えるものが数枚あるが、多くは2〜3mと小さく、高さ1.5〜2.0mの石積みの棚田だ。枚数は40枚をこえるが、湛水している田は3枚のみで、最も休耕田が多い。集落背後、北の上屋敷には2〜3列、14段の棚田があり、1枚が5〜



10<sup>ア</sup>、石積みは比較的高く2・0<sup>ク</sup>3・0<sup>ケ</sup>、40枚前後のうち15枚が湛水していた。集落東の田代は、集落のなかに点在、水が張られた田はほとんどみられなかった。

全体の棚田は、これらを合計しても210枚前後にしかならず、百選選定時の個票の枚数440枚の半分程度である。その差はおよそ20年間の減少ということになるが、私の見落としがあるのかもしれない。しかし、少なくとも耕作されていることを示す水が張られている枚数68枚には大きな間違いはないので、著しく休耕田が増加しているといえるだろう。

### 一人四役をこなす自治会長さん

地元では坂本自治会長の星合秀

弘さんに会うことができた。任期1年、棚田保存会長、営農組合長、中山間地域直接支払代表の4役を務めなければならない。まず集落の実情について、戸数34戸、しかしそのうち7戸は施設に入っているか、空き家状態。水田を耕作している農家は12戸、住民は80名、そのうち50名が60歳以上、限界集落に近い状況だと自嘲気味に仰る。

本人は63歳、奥さん62歳、88歳の母親は施設に入っているそうだ。高校卒業後国鉄に入社。当時農村部の職場は限られ、役場、農協、国鉄に入ればラッキーとされていた。その後組織の変更でJR東海に所属、車掌・運転手・助役・養成（後輩指導）職を務め、60歳で定年退職した。7年前に父親が亡くなり、一時農業

を止めていたが、定年と同時に復活させた。農地は水田60<sup>ア</sup>、18枚、茶園40<sup>ア</sup>、畑5<sup>ア</sup>を所有、そのうち現在水田20<sup>ア</sup>、3枚を耕作、茶園は10<sup>ア</sup>を製茶業者に貸しており、10<sup>ア</sup>は自家菜園として利用。機械類はトラクター18馬力、乗用4条田植機、2条刈コンバインを所有している。12<sup>ク</sup>13俵になる収穫したコメは自家飯米とかつての職場の同僚などに送る緑故米でなくなってしまうそうだ。

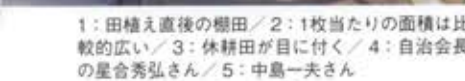
自治会長以外の職務である棚田保存会長としては、水源から集落までの1<sup>キ</sup>の用水路を浚渫する共同作業や電柵設置作業、集落のイベント「棚田あかりin坂本」などを仕切らなければならない。「棚田あかり」は11月の第2土・日曜日に実施さ

れ、1000個の電池式イルミネーションを5時半から7時半までの2時間点灯するもの。このために、集落の各戸から1名、半導体企業サンテイスクから20名のボランティア、野菜直販業者10名、行政からの応援10名、総勢60名以上の人数を指揮しなければならぬ。サンテイスクや野菜直販業者のボランティアは休耕田20<sup>ア</sup>を無償で借り、自ら耕作して収穫したコメは持ち帰っているという。

営農組合としての活動は、中山間の直接支払を活用、地権者と営農組合で補助金を折半、営農組合はトラクター2台と畦塗機2台を購入、共同利用している。これら機械類の使用の調整を行うのも組合長の仕事である。

### 耕作を担う元気なお年寄り

聴き取りを終えた後、集落内を案内してもらった。最初に出会ったのが、田植えを終えたとき火をしていた滝川ヒロ子さん72歳。住所は大阪市阿倍野区、誰も作らなくなった実家の棚田25<sup>ア</sup>、4枚を耕作しているとのこと。水管理は亀山の市街地に住む弟に頼み、その他の作業はJRを



1: 田植え直後の棚田 / 2: 1枚当たりの面積は比較的広い / 3: 休耕田が目につく / 4: 自治会長の星合秀弘さん / 5: 中島一夫さん





1: 棚田越しに見える高速道路 / 2: 棚田の上部の集落 / 3: 電動カートで農道を移動

退職した夫と2人で、空き家になった実家に泊まり込み、残っていた機械類を使用して行っているという。次に会ったのが犬を連れて中島一夫さん78歳、81歳の奥さんの家に婿として入った。津市のVベルトを製造する会社で営業担当として定年まで働いたとのこと。45歳の頃、義父が亡くなってからは農作業を担うようになり、現在は所有水田50<sup>㍓</sup>のうち20<sup>㍓</sup>、5枚をトラクター18馬力、乗用6条田植機、3条刈コンバインを使い耕作しているそうだ。

集落の中央にあるバス停では、ベンチに座り、世間話に耽っていた2人のかあさんに出会った。山尾たき子さん74歳、食品工場の調理補助として働く現役、81歳の夫は4年前に認知症になり、農作業はできなくなったという。それでも所有する水田70<sup>㍓</sup>のうち40<sup>㍓</sup>、8枚を市街地に住む長男が所有する機械類を操作してくれるので作っているという。米は自家飯米のほか農協にも出荷しているそうだ。もう一人が川合とき子さん77歳、79歳の夫のほか、富士ゼックスに勤務する長男53歳、保育園の給食係として働く嫁54歳、高校1年の孫と暮らす珍しい3世代家族。トラクターや乗用4条田植機、2条刈コンバインなどを所有しながら、夫が若い時から中部電力事業所やホンダの下請け工場などで働いてきた兼業農家であったためか、所有水田60<sup>㍓</sup>のうち飯米用として13<sup>㍓</sup>、3枚を耕作するにすぎない。

### 坂本棚田へのアクセス



【公共交通】JR亀山駅前から亀山市運営のコミュニティバスにて坂本集落まで約30分。バス停池山東下車の場合は坂本集落まで更に上り坂を徒歩約30分、いずれの路線も便数は少ない

【自動車】東名阪自動車道亀山スマートより県道11号線を経由し、県道302号線上のバス停池山東の手前を右折し高速道路の下をくぐると坂本棚田が見えてくる。亀山スマートより約20分

このようにお会いした人たちは星合さんを除きすべて高齢者、棚田地域では珍しいことではない。しかし、水田の休耕地が多いのは気になった。直接支払による草刈作業で棚田の形状を保っていることで耕作放棄地にはならないが、その予備軍であることは間違いない。星合さんを先頭にして取り組む「棚田あかり」のイベントや営農組合の活動は、雑草が生い茂る放棄地に囲まれた集落にならないための最後の闘いともいえる。



左から星合さん、川合さん、山尾さん



## 度重なる猪の被害を乗り越えて

濱田 将司  
(明日香の未来を創る会)

奈良県高市郡明日香村稲測の棚田オーナー制度は、93年の高知県精原の神在居の棚田に次いで、全国で二番目の95年にオーナー制度をスタートさせ、今年23年目。明日香村の知名度の高さもあって、23年目の今年も、奈良県下や大阪府下から55組のオーナーを迎えた。

しかし、7、8年前から猪の被害が出始め、5年前の平成25年～26年に、明日香鳥獣害対策協議会が立ち上げられて、棚田の周囲延べ約4kmに侵入防止の金網が張られたが、3年前前から、この金網を掻い潜る猪がオーナーの田んぼを荒らすようになった。被害が拡大したのは昨年だった。

3区画(1区画は約1アール)のオーナー田んぼに被害が出て収穫する事が出来ず、契約に従って1区画あたり40kgの補償米を渡した。ところが、今年、それを大きく上回る猪被害が出て、オーナー田んぼの凡そ半分程が収穫出来なかった。初心者のみならず、ベテランオーナーからも継続を懸念する声が増え、このままでは棚田を守ってゆく事が出来なくなると、危機感を募らせ、11月11日に予定していた「収穫祭」を急遽変更して「棚田を守る」をテーマにして、地元、行政、オーナーに集まって頂くことにした。

参加者は約150人、動画による猪被害の状況報告から始め、次に原因と対策をパワーポイントで



被害を受けた田んぼと猪のふん

説明。そして、これから先、如何にして棚田を守るかを人、モノ、カネ、仕組みに絞って広く参加者に提言して頂いた。建設的な意見が多く、実行に値するものも数多く見受けられた。例えばヒトに関する事では、地域おこし協力隊や移住の推進、ボランティアや学生との連携等、モノについては、古い農法に拘泥せず農機の導入を図る等の意見もあった。カネの面では、協賛企業を募るや、クラウドファンディングの導入、更にはオーナー休憩施設でのカフェの運営等の意見が出た。また、仕組み面では、時代の変化に合わせた多様なコースの設定や、景観作物への転作や、体験と宿泊のセットメニューの販売等の意見もあった。

今後は、これらの提言の中から実行可能なものは速やかに実行してゆき、持続可能な棚田の保全活動を目指したい。今回の集会は、地元とオーナーが、棚田の危機を共有し、棚田を守るための協働の新たな第一歩を踏み出せたと感じた。

会員のひろば

会員の声募集!

「こんな活動をしています」「こんなことやります」という皆さんの声を編集部までお寄せください! ご要望、感想やご質問でもOK! (会員の声800字まで、会員レポート400字まで、写真も添えて) 〒160-0003 東京都新宿区西新宿7-18-16 トーシンハイム七〇四号「棚田に吹く風 会員のひろば」宛 メールでも受け付けています ♪ hiroba@tanada.or.jp



### 会員のみなさんの ベストショット募集!!

みなさんが撮影した棚田や作業風景の写真など、ベストショットをコメント(70文字程度)を添えて編集部まで送ってください。毎号、紹介させていただきます! 送り先は下記。

〒160-0023  
東京都新宿区西新宿7-18-16  
トーシンハイム704号  
「棚田に吹く風 ベストショット」宛  
メールでも受け付けています  
⇒ hiroba@tanada.or.jp



### 新潟県十日町市 留守原の棚田

新潟県十日町市 池田 徹

この棚田で取り組んでいる田植え、草取り、稲刈り、雪の棚田散策などのグリーンツーリズムには県外から多くの方が参加してくれました。



写真提供：岩座神地域協議会



「棚田♡(ラバース)フェス」風人の祭」開催

NPO法人棚田ラバース(兵庫県市川町) 永菅 裕一

NPO法人棚田LOVER'sは「美しい棚田を未来の子どもたちに」をキャッチコピーに、「棚田を生かす」・「人材育成」・「交流」を軸に活動しています。

今回は設立11周年を記念し、交流の一環として、環境(自然)・農・食の大切さを伝える「棚田♡(ラバース)フェス」風人の祭」を2018年10月28日(日)に開催しました。

当日は、約500名の参加者、写真のように36団体の出展者とともに盛大に盛り上がりました！応援者を集めるFAAVOのクラウドファンディングでは、32万7千円が集まり、65人の方に応援いただくことが出来ました。そして、当日の「感動募金」も2万5217円集まりました！

応援いただき、お越しいただいたみなさま本当にありがとうございました。また、棚田の未来を考えるメッセージの中で「来年も開催して下さい」、「来年も行きたいです」という声もいただき、2019年も10月27日(日)に開催予定となりました！より充実した内容を目指します。

ご興味がある方は左記までご連絡ください。

■電話：090-2359-1831

■メール

tanadalove@yahoo.co.jp



編集部イチオシ! BOOK & MOVIE



あまねき螺旋<sup>しらべ</sup>

2017年 / インド / 83分 / 監督: アヌシュカ・ミーナークシ、イーシュワル・シュリクマル / 製作: ウ・ラ・ミルプロジェクト / 配給: ノンデライコ 全国順次公開中。劇場情報は公式HPにて。

舞台はインド東北の山岳部、ナガランド州の小さなムレ(村)。傾斜三分の一にも及ぶそんな急峻な棚田地帯で、ムレの人々が淡々と助け合いながら農作業を営む一年を映し出すドキュメンタリーだが、その全編に響き渡る農民たちの歌声があまりにも美しい。彼らが労働中に歌う民謡「リ」は、低音と高音、そして倍音で構成された見事な芸術的ポリフォニー。アフリカやアジアの土着的な雰囲気があるから、東ヨーロッパやギリシア聖歌などの洗練された雰囲気もあり、ボーダーレスで神秘的な旋律が美しい棚田に響く。



「奇跡の集落」  
廃村寸前「限界集落」からの再生



多田朋孔・NPO法人地域おこし 共著  
2600円(税抜)  
農文協  
2018年11月

2004年10月の中越震災をきっかけに集落存続への模索が始まった、新潟県十日町市池谷集落。6軒13人にまで減った旧住民、著者(多田氏)をはじめとする若い世代の移住、支えたNPOや行政など周辺のさまざまな力、こう書くと誠にシンプルだが、同様の試みは全国各地で行われている。なぜ池谷は成功例になれたのか。そして、著者も言うように今はまだ通過点であり、「これでもう安心」とはならないのが地域づくりだ。著者の「人生をかけた」取り組みを、これからも見守っていききたい。





このコーナーでは、棚田ネットワークのスタッフの活動や事務局のことなどを幅広くお伝えしていきます。

「エコプロ2018」に出展しました

2018年12月6～8日 報告 高河 昭一

12月6日～8日、東京ビッグサイトで行われた「エコプロ2018」の「日本の棚田共同展示コーナー」に今年も出展しました！

棚田ネットワークのブースでは、普段の活動紹介の他に、「旧暦棚田こよみ」や「全国棚田ガイド」の販売を行いました。老若男女、たくさんの方にご訪問頂き盛況に終わりました。ブース紹介のステージでは、活動紹介と谷地田についての講話をしました。



大阪・千早赤阪村の棚田で  
収穫イベント

2018年10月8日 報告 上久保 郁夫

大阪市近郊の千早赤阪村・下赤阪棚田で稲刈りイベントが行われました。このイベントは象印ライスマイルプロジェクトが募集した会員さんを対象に当会がコーディネートし実現したものです。台風の通過で一日延期になりましたが欠席者もなく子供さんも含め32人による賑やかな稲刈りになりました。初めて稲刈りに挑戦する子供たちの目は生き生きとしていました。

鎌での手刈り、更にはハケ掛け作業と順調に進みほぼ昼前に終了。心地よい汗を流した後は道の駅手作りの地元お弁当を美味しくいただきました。午後は会場を移し棚田のお勉強と交流会。とても有意義なイベントになりました。



この歳で某アイドルグループが好きになった。同じ映画を4回も5回も見たり、1着7千円近いパーカーを3着も買ったり（年間平均被服費2千円なのに！）、舞台を観たりファンの集まりに行ったり、LINEも少しやるようになった。2019年はライブ(?)のために、はるばる名古屋まで出かける予定。

古くからの友人は「うっそ〜」「信じられない！」「あなたが!? 面白い!」と言う。まあ確かに、でも、なかなか楽しい。

情報源はほぼtwitterだ。twitter = つぶやき。雑誌もTVの出演番組もCMも映画の試写会も新曲も、すべてここで把握できる。

twitterの間覧や投稿ではもっぱらPCを使う。一応、格安スマホを持っているので外出時にチェック程度はするけど、キーボードがないので投稿はまずしない（あの小さい画面で文字が自在に打てる人を尊敬する）。デスクトップPCの大きなモニター画面とキーボードに慣れていて、ノートPCでさえ小さく感じる。

twitterの流れはとても速い。アツという間に消えていく何万何十万という呟きの海で、しかも140字という文字数制限の中で、議論など成立しない。「なのに」、twitterで論戦する人たちがいる。トランプさんとか橋下さんとかホリエモンとか（私は彼らをフォロワーしてないので、リアルで目撃したことはないけれど。いやいや、もしかしたらあの人たちはアドバリンを上げて社会の反応を見て、次の一手を考えているのかもしれない。だとしたら、結構うまい使い方のかも）。

約3年間で自分の投稿1万6000。つけたイネネが7万6千。イネネの数を気にしない。フォロワー数を競わない。たかがtwitter、されどtwitter。とても現代的なツールだと思っている。

スタッフの  
つ・ぶ・や・き  
＜輪番制＞



今回のつぶやき人  
事務局  
畦野花世





## 千葉県鴨川市

## 川代棚田でお米づくり

川代の美味しいお米できました！



棚田ネットワークと象印ライスマイルプロジェクトのメンバーにより8月26日に収穫された川代米は約2週間の天日干しにかけられました。9月上旬には脱穀・精米され農家さんから引き渡しを受けました。今年には出穂期の7月から8月にかけ記録的な猛暑が続き収穫米の出来栄が心配されました。一般に高温が続くと光合成がうまくゆかず澱粉不足による白濁米や胴割れ米などが含まれると言われています。

幸いにも今年の川代米は平年並みの透明感と艶があり「長狭米」ブランドに相応しい美味しいお米となりました。2枚の田んぼから収穫された180kgのお米は5kg入りパックに小分けし、ライスマイル当選者には贈答品として、また一般参加者や希望者には1パック3,000円でお買い上げいただきました。

(上久保 郁夫)

## 岐阜県恵那市

## 棚田ヒオトブ プロジェクト

秋分に稲刈りしました



「雷乃ち声を収む」。今年の夏は暑く、また、岐阜は雨がまったく降らず、庭の樹木や街路樹がだいぶ枯れてしまいました。しかし、棚田の水は枯れることなく、9月23日（日祝、二十四節気ではまさに「秋分」）の稲刈りを迎えることができました。しかし、この地域（中野方）のお祭り日と重なったこともあり、参加者は私のみ。寂しい限りでしたが、活動時間は思ったよりかからず、いつもよりちょっとかかって1時間で終了しました。天候に恵まれ、稲刈り日和。軽く汗をかくよい運動となりました。

さて、春の水溜まりに卵を産むヤマアカガエルの卵塊を探す「第12回かえるの卵を探そう！」が3月21日（木祝）に開催されます。毎年、我々の訪問に合わせて卵を産んでくれます。ぜひご参加ください。

(相田 明)

## 静岡県松崎町

## 石部棚田で昔ながらの米づくり

稲刈り、そして新米を食べる会



10/6、7に台風24号の影響で1週間延期となっていた稲刈りを開催しました。急な日程変更にも関わらず11名の勇者が集い、強風で倒れてしまった稲や、夏の草刈りで根絶したハズだったノビエに阻まれながらも、なんとかすべて刈り終わりました。途中、小さなムシが稲の間から顔を出す事件もありましたが、参加者が機転を利かせて、竹の先を少し割ったもので頭を抑え、通りがかった保存会の会長さんがすぐさま仕留めるといふ見事な連携プレーで事なきを得ました。収穫量は、籾で175kg、精米で130kg。昨年より20kgの減収で、粒が小さく白濁米や割れ米も多く見た目は悪いのですが、味は過去最高といえるぐらい甘みと粘りがあり美味しくできました。そして11/11には、棚田の交流棟での「新米を食べる会」を開催して、今シーズンも無事終了。参加してくれた皆様今年もありがとうございました！

(高桑 智雄)



使いつらい、だけど美しい！  
始めてみよう「旧暦生活」

今年も作りました！

平成三十三年  
旧暦  
棚田  
ごよみ

月の満ち欠けでひと月を知り、太陽の動きで季節の移り変わりを感じていた「旧暦」での暮らし。旧暦棚田ごよみは、四季折々の美しい棚田の風景とともに、暦で「季節感」を味わうことのできる旧暦カレンダーです。

壁掛けタイプ

A4(縦210×横297mm) ※開くとタテA3サイズ



5部セットがお得！  
贈答用にどうぞ！

¥1,200(税込)

5部セット

¥5,500(税込)

※送料は別途かかります。

旧暦がわかる  
『ミニブック』  
付いています！



注文サイト  
QRコード



二十四節気  
七十二候  
雑節を表示

四季折々の  
棚田風景

新暦表示  
もあり！

月の  
満ち欠け  
イラスト  
入り！

葉月

ご購入は

TEL. 03-5386-4001 もしくは棚田ネットワークHPから  
●お電話受付時間 13:00～17:00 ※土日祝をのぞく

※このカレンダーは、旧暦の元日(平成31年は2月5日)から始まります。  
新暦表示は平成31年2月5日(火)から翌年1月24日(金)までです。



わたしたちと「棚田の応援団」やりませんか！

棚田ネットワークは「棚田の保全に協力したい！」という会員によって自主的に運営されているNPOです。消えゆく美しい「棚田」をどのように保全していくことができるのでしょうか？一緒に考えませんか？ぜひ、私たちと棚田の応援団になりましょう！

会員に  
なろう！

私たちは、会報誌「棚田に吹く風(年4回)」やホームページで豊富な棚田情報を発信しています。会員になりこれらの活動に参加してみませんか？

年会費

- 個人会員
- |      |             |
|------|-------------|
| 維持会員 | 1口1万円(1口以上) |
| 一般会員 | 4,000円      |
| 応援会員 | 3,000円      |
| 学生会員 | 2,000円      |

法人会員を募集しています！

私たちは、棚田を守るため、農山村の人々と都市住民双方の協力のもとに様々なプログラムを企画・運営しています。これらの社会貢献活動に賛同し、ご支援いただける企業・団体・事業主様を募集しています。詳細はお問い合わせ下さい。

年会費

- 法人会員(賛助会員)
- |             |
|-------------|
| 1口3万円(1口以上) |
|-------------|

編集部から  
自民党がプロジェクトチームを作って取り組んでいた「棚田地域振興法案」(仮称)の骨子がまとまり、いよいよ来年の通常国会に議員立法として提出されるようです。高齢化や担い手不足により荒廃する棚田。その環境や景観を維持し、棚田を中心とした地域振興を図るための法案だそう。超党派での提案になるもよう。  
日本の原風景を象徴する「棚田」は、農業のカテゴリーだけでは収まらない存在をすでに発揮し始めています。スイスでは、アルプスらしい景観を維持する農家に直接補助金が支給される政策があるそうです。棚田耕作者は日本の景観の守り人である、という社会認識が広まるきっかけになれば嬉しいですね。

ホームページのぞき見で！

棚田ネットのWebサイトも  
見てみてください！



<http://www.tanada.or.jp>

棚田に吹く風

2019年 冬号 Vol.110

発行



認定NPO法人  
棚田ネットワーク

〒160-0023  
東京都新宿区西新宿 7-18-16 トーシンハイム 704 号  
Tel / Fax 03-5386-4001  
e-mail : info@tanada.or.jp URL : www.tanada.or.jp  
郵便振替口座 : 00100-7-151565